

2016年度 入学試験問題

日本史 世界史 政治・経済 数学

日本史	1～12ページ
世界史	13～36ページ
政治・経済	37～53ページ
数学	55～56ページ

注意

- (1) 日本史、世界史、政治・経済、数学から1科目を選択し解答すること。
- (2) 解答用紙は各科目別になっている。
選択しない科目の解答用紙は、試験開始30分後に回収する。
なお、回収後は科目の変更はできない。
- (3) 解答用紙には受験番号の記入欄がそれぞれ次のようにある。
日本史……………3か所
世界史……………3か所
政治・経済………3か所
数 学……………表面に2か所、裏面に1か所、計3か所
各箇所とも正確、明瞭に記入すること。
- (4) 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入すること。
- (5) 問題紙の余白は計算に使用してもよい。
- (6) 問題紙を解体して使用してはならない。
- (7) 試験開始後、問題紙に落丁・損傷がないか確認すること。
- (8) 試験終了後、問題紙は各自持ち帰ること。

日 本 史

〔 I 〕 古代中世の学問と文化に関する A～F の文章を読んで、空欄（ ア ）～（ シ ）に入る適切な語句を解答欄 I－A に漢字で記せ。また、それぞれに付された【設問 a】～【設問 l】に答えよ。なお、同一記号の空欄には同一の語句が入る。 (60点)

A. 古墳時代の列島社会における学問と文化は、主に朝鮮半島や中国から渡来した集団によってもたらされた。秦氏は、応神天皇の時代に来朝して養蚕や機織を伝えた（ ア ）の子孫と称し、山城国葛野郡・紀伊郡を本拠として現在の嵐山のあたりに葛野大堰^{おおい}を築いて周辺地域の開墾を進めた。東漢氏は、応神天皇の時代に渡来した（ イ ）の子孫といい、大和国の檜前^{ひのくま}を本拠として、鞍作・錦部などの手工業集団を率いて大王に奉仕した。彼らの一部は6世紀半ば頃から坂上氏を称するようになり、菟田麻呂^aは恵美押勝の乱に武功をあげ、その子田村麻呂は征夷に活躍し参議にまで昇った。西文氏は、応神天皇の時に百濟から渡来して『論語』や『（ ウ ）』を伝えたという王仁の後裔氏族で、河内国古市^bを本拠とした。雄略天皇の時代には、東漢氏の枝族である東文氏とともに国の管理する三蔵の帳簿を勘録したと伝え、のちには東西史部と並び称されて朝廷の文筆・記録をつかさどった。奈良時代になっても東西史部の子は五位以上官人の子孫とともに大学生に優先的に抜擢されることが律令に規定されている。

【設問 a】 下線部 a と同じく恵美押勝の乱の追討に活躍した人物で、のち大学頭・文章博士などを歴任して「文人の首」と称された『唐大和上東征伝』の著者の名を下記から選び、その番号を解答欄 I－B に記入せよ。

1. 鑑 真 2. 石上宅嗣 3. 吉備真備 4. 淡海三船

【設問 b】 下線部 b の古市とその周辺には、5世紀を中心とする古市古墳群が存在する。この古墳群に属する古墳を下記から選び、その番号を解答欄 I－B に記入せよ。

1. 造山古墳 2. 萱田御廟山古墳 3. 箸墓古墳 4. 大山古墳

B. 奈良時代になると、都には^c大学が、地方には（エ）が設置され、律令国家を運営するための官僚や政治家の育成が進められる。大学寮には本科（のちの明経道）と算科が設置され、博士以下の教官が置かれた。また神亀5年（728）には、新たに律学博士と文章学士が置かれて、明法・文章コースが整備されていく。以上の学科は、平安時代になると紀伝道・明経道・明法道・算道の四道と呼ばれるようになり、ここに大学で学び国家試験を経て官人となるという昇進ルートが生まれ、9世紀から10世紀初頭には優れた文人官僚が輩出することになる。しかし次第に特定の家が個々の学問を^d専修するようになり、10世紀後半には学問の家学化が進んだ。

【設問 c】 下線部 c の大学には、平安時代になると大学別曹と呼ばれる氏ごとの寄宿舎が付設されるようになる。大学別曹として不適切なものを下記から選び、その番号を解答欄 I - B に記入せよ。

- | | |
|----------|--------|
| 1. 学館院 | 2. 勸学院 |
| 3. 綜芸種智院 | 4. 弘文院 |

【設問 d】 下線部 d のなかには、遣唐副使に任命されながらも政府の命令に逆らって遣唐使船への乗船を拒否した政治家がいた。その人物名を下記から選び、その番号を解答欄 I - B に記入せよ。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 菅野真道 | 2. 小野篁 |
| 3. 柿本人麻呂 | 4. 小野好古 |

C. 紀伝道は、漢文学・中国史を学ぶ学科で、教官の文章博士が文章得業生・文章生・擬文章生らを指導した。文章生から出た人物として『日本文徳天皇実録』編纂に従事し、詩文集『都氏文集』を残した（オ）が有名であるが、古くは葬送儀礼や埴輪生産に携わっていた（カ）氏の後裔である菅原氏や大江氏の中から、紀伝道を学んで世に出る者が多く現れたことも注目される。菅原道真^eは、宇多天皇の信任を得て蔵人頭に抜擢され、その後参議になり、醍醐天皇のもとで右大臣に登った。また大江朝綱は文章博士として撰国史所の別当を務め、参議・左大弁に昇った。大江氏はこれ以降も学者の家として繁栄し、撰関時代の最盛期、一条天皇に付いて侍読という教師役を務めた大江匡衡（952-1012）は、『栄華物語』の筆者とされる（キ）の夫でもある。院政

時代の儒官・公卿である大江匡房も、蔵人・弁官などの要職を歴任し、後三条・白河・堀河3代の天皇の侍読となり、白河院の院近臣として活躍、「高才明敏、文章博覧、当世無比」と称された。また藤原師通の依頼で『(ク)』という儀式書を編纂している。このように受け継がれた学識は鎌倉時代になっても重用された。(ケ)は、一時明経博士中原広季の養子となり、太政官の書記官たる外記の職にあったが、源頼朝の強い要請に応じて元暦元年(1184)鎌倉に下向し、同10月には公文所の初代別当になる。その後は頼朝の側近として草創期の幕府制度の整備に努め、守護地頭の設置などを献策した。

【設問 e】 下線部 e の人物は右大臣の官にまで昇ったが、当時左大臣であった人物の策謀・讒言により大宰権帥に左遷された。この左大臣の名を下記から選び、その番号を解答欄 I-B に記入せよ。

1. 藤原実頼
2. 藤原忠平
3. 藤原時平
4. 藤原基経

【設問 f】 下線部 f の公文所は、頼朝が右近衛大将に任じられてのち改組されるが、その改組後の機関名を下記から選び、その番号を解答欄 I-B に記入せよ。

1. 侍所
2. 評定衆
3. 問注所
4. 政所

D. 明経道は、四書・五経をもちいて経学を学ぶ学科で、大学博士・助教・直講のもと明経得業生・明経生などの多くの学生を抱えていた。10世紀後半以降には中原・清原両氏による博士職の世襲化、学問の家学化が進み、明経道中原氏は清原氏とともに外記局の実務をつかさどる局務家として国政を支えた。また、明法道中原氏を称する一流は、坂上氏とともに明法家を出す家となる。鎌倉時代には中原師員が (g) の侍読として鎌倉に下って將軍御所の行事を奉行するようになり、執権 (h) の恩顧を得て、評定衆に任じられるとともに「御成敗式目」の制定にも関与した。室町時代になっても中原氏の活躍は顕著で、明法家中原章賢が足利尊氏の諮問に答えて起草したものが「(コ)」であり、その内容は幕府の所在地に関する意見や施政方針から構成されている。

【設問 g】 空欄 (g) には鎌倉幕府第4代將軍となった撰家將軍の名が入る。適切なものを下記から選び、その番号を解答欄 I-B に記入せよ。

1. 藤原為家
2. 藤原頼長
3. 九条兼実
4. 藤原頼経

【設問 h】空欄（ h ）には、連署・評定衆を設置して鎌倉幕府の合議制を整備した人物の名が入る。適切なものを下記から選び、その番号を解答欄 I－B に記入せよ。

1. 北条泰時
2. 北条時政
3. 北条時宗
4. 北条義時

E. 明法道は、律令を実際に運用するための法律解釈を教授する学科で、明法博士のもとで明法得業生・明法生が学んでいた。その出身者からは明法博士や刑部省の大少判事として活躍する優秀な法律家が輩出した。明法博士の地位は9世紀以降惟宗氏が世襲し、『令集解』を編纂した惟宗直本を出したが、11世紀以降になると中原氏や坂上氏の家職として継承されるようになる。坂上氏は、先にふれたように東漢氏の後裔だが、11世紀末の坂上範政が明法道中原氏の養子となり、その子明兼が再び坂上姓を称するようになって以降は、著名な明法道の家として躍進することになる。中原明兼が著した法書『法曹至要抄』は中世公家法の基本として後世にも大きな影響を与えた。

【設問 i】下線部 i の刑部省の有した裁判機能は10世紀以降、警察権・司法権の大部分を吸収した検非違使庁に奪われていく。刑部省とならんで検非違使庁にその機能を奪われた官司でふさわしくないものを下記から選び、その番号を解答欄 I－B に記入せよ。

1. 弾正台
2. 兵部省
3. 京職
4. 六衛府

【設問 j】下線部 j などの法律書、蓄積された明法博士の法律解釈、検非違使庁の例とならんで「公家法」を構成するものを下記から選び、その番号を解答欄 I－B に記入せよ。

1. 新制
2. 塵芥集
3. 禁秘抄
4. 新加制式

F. 算道は、算術を教授する学科で、算博士が算得業生・算生を教育した。出身者は主計寮・主税寮など租税の集計にかかわる官司で手腕をふるったが、平安中期以降になると小槻・三善両氏による博士職の世襲が進んだ。小槻氏は、近江国栗太郡に拠点を持つ古代氏族の末裔であり、9世紀末に京都に移って算道を家業とするようになる。彼らは文書管理能力にも卓越しており、代々、算博士や太政官事務局の（サ）に属した史と称する書記官を出し、11世紀後半頃からは史の上首たる大夫史を世襲して太政官の事務部門を請け負うようにな

る。いわゆる官務家である。後白河院政期の小槻隆職たかもとの時代に内部対立が生じ、鎌倉時代初期に壬生家みぶと大宮家に分裂する。他方、三善氏は錦部という渡来系氏族の子孫で、10世紀後半には三善朝臣に改姓、三善為康¹などの算道系実務官僚を出す家として確立する。また三善康信は都で（サ）の史を務めていたが、母が源頼朝の乳母の妹であった関係から鎌倉に下向することが求められた。（シ）執事に任じられた彼は、幕府の裁判制度の整備に尽力し、（ケ）とともに將軍の政治顧問として幕府制度の整備に寄与した。その子孫も代々（シ）執事となり、室町時代になっても幕府の実務官僚として活躍し続けた。

【設問k】下線部kは戸籍の管理や調庸の収税を掌る官司に統括されている。この官司の名称を下記から選び、その番号を解答欄I-Bに記入せよ。

1. 式部省 2. 中務省 3. 民部省 4. 治部省

【設問l】下線部lの人物は、他方で浄土思想にも深い関心を持ち、『拾遺往生伝』を著している。この時期に広く流布した浄土思想の影響を受けて建立された堂舎としてふさわしくないものを下記から選び、その番号を解答欄I-Bに記入せよ。

1. 中尊寺金色堂 2. 室生寺金堂
3. 法界寺阿弥陀堂 4. 富貴寺大堂

〔Ⅱ〕 次の史料Aを読み、【設問ア】～【設問コ】に答えよ。また、Bの図1～4をみて【設問サ】～【設問ツ】に答えよ。 (45点)

A. 条々

- 一 諸国百姓等、刀・わきさし・弓・鑓やり・鉄炮、其外武具のたくひ所持候事、かたく御停止候、其子細ハ、不入いらざるたうくあひたくはへ、年貢所当を難渋せしめ、一揆くわだてを企じねん、自然給人はたらきに対し非儀之動やからをなす族、勿論御成敗あるへし、然ハ其所の田畠令不作、知行ことごとくついへに成候間、其国主・給人・代官等として、右武具悉取あつめ、可致進上事、
- 一 右取をかるへき刀・わきさし、ついへにさせらるへき儀にあらず、今度

- (a) 御建立候釘・かすかいに被仰付へし、然ハ今生之儀は不及申、来世迄も、百姓相たすかる儀に候事、
- 一 百姓ハ農具さへもち、耕作を専に仕候へハ、子々孫々まで長久に候、(中略)
各其趣を存知、百姓は農桑を精に入へき事、
(後略)

[天正16年(1588)7月 島津家文書]

【設問ア】この史料は百姓から武器を取り上げ耕作に専念させるために出されたが、この法令は内容上一般に何と言われたか。解答欄Ⅱ－Aに漢字で記せ。

【設問イ】(a)に入る語句は、京都の方広寺に建立する予定のものであった。それは何か。解答欄Ⅱ－Aに漢字2字で記せ。

【設問ウ】秀吉は、全国の大名に対し、それぞれの領国の検地帳と国絵図の提出を命じた。検地帳の作成にあたって、全国的な新たな統一基準を定め、6尺3寸四方を1歩(坪)と決めたが、何歩(坪)を1段にしたか。解答欄Ⅱ－Aにその数字を記せ。

【設問エ】秀吉は、ものを丈量するための柁も統一するが、基準とされた柁は何柁と呼ばれたか。解答欄Ⅱ－Aに漢字で記せ。

【設問オ】秀吉が行った検地は、戦国大名などが行った指出検地と異なり、村ごとの田畑・屋敷地の面積と等級を調査して、石高を決定し、一地一作人の原則に基づき直接耕作者を年貢負担者として検地帳に登録した。こういった検地は秀吉が関白を譲った後の称号を付して呼ばれたが、その称号は何か。解答欄Ⅱ－Aに漢字2字で記せ。

【設問カ】秀吉は、16世紀後半になって明がおとろえると、日本を中心として東アジアにおける国際秩序の形成をめざし、朝鮮へ2度にわたり出兵するが、その本陣として肥前に築いた城は、何と呼ばれたか。次の語群から選び、解答欄Ⅱ－Bに記せ。

1. 大坂城 2. 熊本城 3. 福岡城 4. 名護屋城

【設問キ】秀吉は、九州平定直後、天正15年(1587)にいわゆる「バテレン追放令」を発するが、それを発した場所は現在の何県にあたるか。次の語群から選び、解答欄Ⅱ－Bに記せ。

1. 長崎県 2. 熊本県 3. 福岡県 4. 佐賀県

【設問ク】秀吉は、京都に華麗で壮大な建造物を造営し、後陽成天皇を招いたりもしたが、10年足らずのうちにそれを破却した。その建造物は何と呼ばれたか。次の語群から選び、解答欄Ⅱ-Bに記せ。

1. 聚楽第 2. 伏見城 3. 仙洞御所 4. 二条城

【設問ケ】秀吉は、政務を分担させるために、取り立てた大名から五奉行を選び、そのほかの有力大名を五大老に任じ、重要政務に関し合議制を取った。以下の語群から、五大老に入らなかった人物を1人選び、解答欄Ⅱ-Bに記せ。

1. 徳川家康 2. 前田利家 3. 毛利輝元 4. 石田三成

【設問コ】豊臣秀吉の死後、関ヶ原の戦いで勝利し実権を握った徳川家康は、全大名に対して指揮権の正当性を得るためにある官職に任命された。その官職名を次の語群から選び、解答欄Ⅱ-Bに記せ。

1. 関白 2. 大納言 3. 中納言 4. 征夷大將軍

B.



図1.

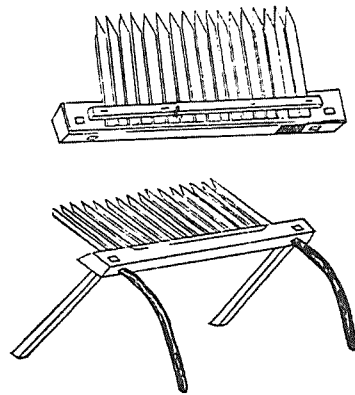


図2.

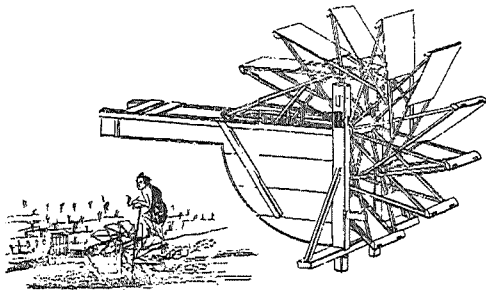


図 3.

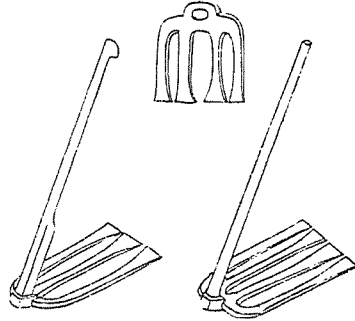


図 4.

(図 1～図 4 まで出典は『日本農書全集』)

【設問サ】図 1 は、元禄 10 年（1697）に刊行され、日本において最初に体系的な農書となった書物に収録された「農事図」の一部であるが、この農書をあらわした人物は誰か。解答欄Ⅱ－A に漢字で記せ。

【設問シ】図 1 が収録された農書の名前は何か。解答欄Ⅱ－A に漢字で記せ。

【設問ス】図 2、図 3、図 4 は、文政 5 年（1822）に刊行された農書に挿入された図であるが、この農書を著した人物は、豊後国日田出身の農学者である。この人物は誰か。解答欄Ⅱ－A に漢字で記せ。

【設問セ】図 2、図 3、図 4 が挿入され、全国各地の農具について詳述した農書の名前は何か。解答欄Ⅱ－A に漢字で記せ。

【設問ソ】図 1 の丸で囲んだ部分で使用されている脱穀用の農具は何と呼ばれたか。その名称を以下の語群から選び、解答欄Ⅱ－B に記せ。

1. 千石筵 2. 千箇扱 3. 扱 筥 4. 唐 臼

【設問タ】図 2 の農具は脱穀用のもので、一名「後家倒し」とも呼ばれた。その名称を以下の語群から選び、解答欄Ⅱ－B に記せ。

1. 唐 箕 2. 千石筵 3. 千箇扱 4. 犁

【設問チ】図 3 の農具は灌漑用のものである。その名称を以下の語群から選び、

解答欄Ⅱ－Bに記せ。

1. 竜骨車 2. 踏 車 3. なげつるべ 4. 水 車

【設問ツ】図4の農具は人力で田畑を耕す時に用いられた鍬で、日本のある国名を冠して呼ばれていた。その国名を以下の語群から選び、解答欄Ⅱ－Bに記せ。

1. 筑 前 2. 備 前 3. 備 中 4. 備 後

〔Ⅲ〕 次の(1)～(4)の文章を読んで、【設問a】～【設問q】に答えよ。

(45点)

- (1) 1890年に実施された日本最初の衆議院議員総選挙にもとづいて第1回帝国議会(第一議会)が開かれた。第一議会を構成する議員は政府に対抗する民党勢力が多数を占めたため、改めてこの時の山県有朋総理大臣は政党の意向に左右されない政治姿勢を採用した。1892年に実施された第2回衆議院議員総選挙においては、内務大臣を中心に激しい選挙干渉が行なわれ民党勢力をd圧迫したが、民党勢力の優勢をくつがえすことはできなかった。

【設問a】下線部aに関して、1889年に成立した衆議院議員選挙法において、選挙人は満(ア)歳以上の男性で直接国税(イ)円以上の納入者に限られていた。空欄(ア)(イ)に入る適切な数字を下記から1つずつ選び、その番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 3 2. 10 3. 15 4. 20 5. 25 6. 30

【設問b】下線部bに関して、この当時政府に対抗する党派を民党と呼んだのに対して、政府を支持する党派はなんと呼ばれたか、その呼称を解答欄Ⅲ－Aに漢字で記せ。

【設問c】下線部cに関して、この政治姿勢の呼称を解答欄Ⅲ－Aに漢字4字で記せ。

【設問d】下線部dに関して、このとき内務大臣を務めていた人物名を下記から1つ選び、その番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 松方正義 2. 樺山資紀 3. 品川弥二郎 4. 西郷従道

(2) 1898年には日本で最初の政党内閣として第1次大隈重信内閣（隈板内閣）が成立したが、文部大臣が共和演説事件で辞任したことをきっかけにして短命に終わった。^e 1900年には伊藤博文は旧自由党系の憲政党と結合して結成した新政党の総裁に就任し、この政党を基盤にして第4次内閣を組閣したが、長^f続きしなかった。

1914年に海軍高官の汚職事件が発覚し、第1次山本権兵衛内閣が退陣した後、民衆に人気のある大隈重信が後継首相に起用され、第2次内閣を組閣した。この第2次大隈内閣は第1次大戦の勃発に遭遇し、1915年には中国に対して二十一カ条の要求を行ない強引に承認させた。^hこれに対して、第2次大隈内閣の後を受けた寺内正毅内閣は西原借款ⁱと呼ばれる巨額の経済借款を中国に与えることで、日本の権益確保を図った。そしてこの寺内内閣はアメリカとの間において、1917年に中国におけるアメリカの「門戸開放」と日本の「特殊権益」を相互に認め合う協定^jをむすんだ。

【設問 e】 下線部 e に関して、このとき文部大臣を務めていた人物名を解答欄Ⅲ－A に漢字で記せ。

【設問 f】 下線部 f に関して、これ以後の政党政治の有力な一翼を担うことになるこの政党の名称を解答欄Ⅲ－A に漢字 5 字で記せ。

【設問 g】 下線部 g に関して、この汚職事件はこれに関与したドイツの会社名をとって (g) 事件と呼ばれる。空欄 (g) に入る適切な語句を解答欄Ⅲ－A にカタカナで記せ。

【設問 h】 下線部 h に関して、中国に二十一カ条の要求を行なった時の外務大臣の人物名を解答欄Ⅲ－A に漢字で記せ。この人物は政党内閣の時代が本格的に始まる契機となった護憲三派内閣が発足したときの総理大臣であった。

【設問 i】 下線部 i に関して、西原借款の対象であった中国側の北京政府の実権を握っていた人物名を下記から 1 つ選び、その番号を解答欄Ⅲ－B に記入せよ。

1. 袁世凱
2. 張作霖
3. 孫 文
4. 段祺瑞

【設問 j】 下線部 j に関して、この協定がアメリカ国務長官ランシングと結ばれたとき、日本側の特派大使を務めた人物名を下記から 1 つ選び、その番号を

解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 小村寿太郎 2. 石井菊次郎 3. 内田康哉 4. 松岡洋右

(3) 日清戦争以後に産業資本主義が発展し、さまざまな社会問題を生み出した。

この社会問題を解決する根本的方策として、欧米から社会主義思想が受容され、1901年には日本最初の社会主義政党が結成されるにいたったが、結成直後に禁止されてしまった。1906年1月に第1次西園寺公望内閣が発足した直後に、社会主義政党としてはじめてその存続が認められた日本社会党は、党内において片山潜らの議会政策派と幸徳秋水らの（ m ）派との対立が激しくなり、後者が優位を占めるようになると、解散を命じられた。

第1次大戦後には、欧米諸国からデモクラシーやロシア革命などの影響を受けて、さまざまな社会運動が活発化した。労働組合運動だけでなく、農村でも小作争議が頻繁に起こり、1922年には日本農民組合が結成された。また同年には被差別部落民の解放運動の全国組織として全国水平社も創立された。他方で、民本主義を提唱した東京帝国大学教授の（ n ）のもとで学んでいた学生たちによって1918年に結成された東大新人会もまた労働・農民運動との関係を深めていくことになる。

【設問 k】 下線部 k に関して、この政党名を解答欄Ⅲ－Aに漢字で記せ。

【設問 l】 下線部 l に関して、下線部 k の政党に解散を命じる法的根拠になった法律名を解答欄Ⅲ－Aに漢字で記せ。

【設問 m】 空欄（ m ）に入る適切な語句を下記から1つ選び、その番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 労働組合 2. 共産主義 3. 直接行動 4. 平民主義

【設問 n】 下線部 n に関して、全国水平社創立の宣言文である「水平社宣言」を起草した人物名を下記から1つ選び、その番号を解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 杉山元治郎 2. 西光万吉 3. 山川均 4. 安部磯雄

【設問 o】 空欄（ o ）に入る適切な人物名を解答欄Ⅲ－Aに漢字で記せ。

(4) 戦後の保守政党の代表的な指導者の一人である吉田茂によって重用された池田勇人と佐藤栄作は1960年代の経済成長の時期に続けて政権を担当した。1960年に組閣した池田勇人は、国民所得倍增計画によって経済成長を推進す

るとともに、まだ国交のなかった日本と中国の間において「政経分離」の原則のもとに準政府間貿易を実現した。池田勇人が病気で退陣したのを受けて、1964年に組閣した^p佐藤栄作内閣は3次にわたって連続長期政権を担当した。

【設問 p】下線部 p に関して、この準政府間貿易は日中間で交渉した人物の頭文字をとって L T 貿易とも呼ばれる。中国側の廖承志（L）に対して、日本側の T は誰か、その人物名を下記から 1 つ選び、その番号を解答欄Ⅲ－B に記入せよ。

1. 高野岩三郎
2. 高碓達之助
3. 田中角栄
4. 竹下登

【設問 q】下線部 q に関して、第 1 次～第 3 次佐藤栄作内閣の時期に起った出来事として誤っているものを下記から 1 つ選び、その番号を解答欄Ⅲ－B に記入せよ。

1. 核兵器を「もたず、つくらず、もち込ませず」という非核三原則の方針をかかげた。
2. 日韓基本条約を締結し、大韓民国との国交を樹立した。
3. 日中共同声明を発表して日中国交正常化を確立した。
4. 沖縄返還協定の調印によって、沖縄の日本への復帰を実現した。

世 界 史

〔 I 〕 次の [あ] ～ [き] の文章を読み、設問 1 ～ 3 に答えなさい。 (50点)

[あ]

イタリアの① [1. ヴェネツィア 2. ジェノヴァ 3. フィレンツェ 4. ピサ] に生まれたマルコ＝ポーロの『世界の記述』(『東方見聞録』) などにより、ヨーロッパでは東方への関心が高まった。莫大な富をもたらすアジアの金や特産品の香辛料は、あらたな財源を求める君主など、多くの人びとを引き付けたのである。さらに、国土回復運動のなかで異教徒とたたかってきたポルトガルやスペインでは、キリスト教を海外に布教しようとする意欲も強いものがあった。

1. バルトロメウ＝ディアスがポルトガルの② [1. イサベル 2. エリザベス 1世 3. ジョアン2世 4. フェルナンド5世] の命を受けて航海に出てアフリカ大陸の南端に達したのは、その治世のこの年のことであった。
2. この年、ヴァスコ＝ダ＝ガマがインド西岸のマラバール海岸の③ [1. カリカット 2. マカオ 3. マラッカ 4. モルッカ] に到達した。
3. この年、エンリケ航海王子が派遣した探検隊がアフリカ大陸の最西端にある④ [1. ヴェルデ岬 2. 喜望峰 3. ゴア 4. モンバサ] を発見した。

[い]

イタリアの⑤〔1. ヴェネツィア 2. ジェノヴァ 3. フィレンツェ 4. ピサ〕生まれの船乗りコロンブスは、⑥〔1. ヴェネツィア 2. ジェノヴァ 3. フィレンツェ 4. ピサ〕の天文学者トスカネリの学説を信じ、1492年、大西洋を横断してバハマ諸島のサンサルバドル島に到着した。この航海を援助したのは、⑦〔1. イサベル 2. ジョアン2世 3. エリザベス1世 4. フェルナンド5世〕であった。

1. ⑧〔1. カブラル 2. カボット 3. バルボア 4. ルブルック〕がこの年、ブラジルに漂着し、この地を⑨〔1. イギリス 2. オランダ 3. スペイン 4. ポルトガル〕領とした。この領有は、海外領土分割を規定したある条約^(c)に従って決定されたものであった。

2. この年、ラテンアメリカではポトシ銀山が発見された。(この銀山の発見によって大量の銀がヨーロッパに流入し、ヨーロッパの物価は2～3倍に上昇することになる。)

3. この年、コンキスタドール(征服者)のひとり⑩〔1. アメリゴ=ヴェスプッチ 2. コルテス 3. ピサロ 4. ラス=カサス〕がインカ帝国をほろぼした。その帝国の首都を破壊した後、新しい首都⑪〔1. アカプルコ 2. クスコ^(d) 3. テノチティトラン 4. リマ〕を建設した。

[う]

ローマ教会が、聖ピエトロ教会の改修資金を集めるため、贖宥状（免罪符）を販売したのに対して、神学者ルターが1517年、「95か条の論題」を発表し、贖宥状に強い疑問を唱えた。これが宗教改革の運動の始まりとなった。一方、ローマ教会側も、その運動に対して対抗措置を取っていくこととなる。

1. キリスト教宣教師の⑫〔1. アダム＝シャル 2. ブーヴェ 3. マテオ＝リッチ 4. カスティリオーネ〕らが中心となって、この年、中国最初の実測地図『皇輿全覽図』を完成した。当時、中国では、ヨーロッパの天文学や地理学、軍事技術など、科学技術に関心をもつ士大夫層がキリスト教をうけいていたのである。

2. この年、イグナティウス＝ロヨラによる⑬〔1. イエズス会 2. ドミニコ会 3. フランチェスコ会 4. ベネディクト会〕の設立が教皇パウルス3世によって許可された。この教団（修道会）は、教皇に対する絶対的服従を誓うものであった。（後に、パウルス3世は、もう一方の動きとして、トリエントで公会議を開催することになるが、この都市トリエントは現在の⑭〔1. イタリア 2. オーストリア 3. スイス 4. ドイツ〕に位置する。）

3. この年、フランシスコ＝ザビエルが日本に来航した。（この海外での布教活動は、「大航海時代」の世界的通商・植民活動と密接なつながりをもっていた。）

[え]

ポルトガルは12世紀にカステイリヤから独立した後、15世紀後半に国王が貴族の反乱をしずめて王権を強化し、さらにインド航路の開拓を積極的に援助した。

1. この年、ポルトガルは、明からマカオの居住権を獲得した。(ここを拠点にしてポルトガルは、対中国貿易をくりひろげていくことになる。)
2. ポルトガルの遠征軍は、この年、インドのゴアを占領した。(この後、ポルトガルは、この地をアジア貿易の根拠地とし、スリランカなども支配下におくこととなる。)
3. この年、ポルトガル人の乗った船が種子島に漂着した。(これをきっかけに、彼らは平戸に来航し、日本と通商関係をもつことになる。)

[お]

1519年、スペイン王は神聖ローマ皇帝にも選出され、伝統的なキリスト教世界の統一を体現する存在となった。(しかし、ハプスブルク家領に国土をとりかこまれたフランスはそれと対決することとなる。こうして、このスペイン王兼神聖ローマ皇帝は、その治世の大半を、複雑に構成された広大な支配領域を維持するための戦いについやすことになる。)

1. バルト海での中継貿易で富をたくわえたオランダは、この年、東インド会社を設立した。(これによってオランダは貿易網をひろげ、国力を強め、学芸も全盛期をむかえることとなる。オランダの全盛期を象徴する画家として⑮〔1. クラナハ 2. ブリュエゲル 3. ルーベンス 4. レンブラント〕がいる。この巨匠は、独特な明暗法を用いて、市民のたくましい姿を生き生きと描いた。)
2. オランダを支援したイギリスを攻撃するため、スペインは、この年、無敵艦隊（アルマダ）をおくったが、イギリス海軍に敗れて、制海権を失うきっかけとなった。
3. 商業の発達したネーデルラントを支配していたスペイン王は、カトリック化政策を強め、それまで大幅に認められてきた自治権をうばおうとして、この年、ネーデルラントの諸州の激しい反乱をまねいた。

[か]

1623年、インドネシア東部でアンボイナ事件がおこった。この事件は、イギリスの多数の商館員をオランダが虐殺した事件である。

1. この年、インドでは、イギリス東インド会社の傭兵軍をひきいた⑩〔1. クライヴ 2. コシューシコ 3. デュプレクス 4. ローリ〕が、フランスと地方政権の連合軍をプラッシーの戦いでうち破った。
2. コルベールが再組織した結果、フランス東インド会社がこの年に再建された。
(こうしてフランスは、インドに進出し、イギリスと対抗することになった。)
3. オランダは、この年、西インド会社を設立し、アフリカ西岸とアメリカとの通商にのりだした。(こうしてオランダは北アメリカ東岸にニューネーデルラント植民地を領有して、ニューアムステルダムを建設していく。)

[き]

フランスは17世紀初頭以来ケベックを中心にカナダへ進出し、ルイ14世時代には広大なルイジアナを手に入れた。他方イギリスは、北アメリカ東岸に最初の植民地ヴァージニアを設けた。18世紀になると、経済的覇権をめぐるイギリスとフランスの抗争が激化し、ヨーロッパでおこった戦争は、植民地での戦争をともなうことになった。

1. 北アメリカでは、⑰ [1. オーストリア継承 2. 七年 3. スペイン継承 4. ファルツ継承] 戦争と並行して、「フレンチ=インディアン戦争」と呼ばれる、イギリスとフランスの植民地戦争がおこなわれた。

2. 北アメリカの植民地では、「ジョージ王戦争」と呼ばれた戦争がおこなわれた。この戦争は、⑱ [1. オーストリア継承 2. 七年 3. スペイン継承 4. ファルツ継承] 戦争とほぼ同時におこなわれた。

3. ヨーロッパでは、ルイ14世の侵略戦争として⑲ [1. オーストリア継承 2. 七年 3. スペイン継承 4. ファルツ継承] 戦争がおこなわれた。これに伴い、イギリスは北アメリカの植民地でフランスと戦った。これは植民地では「アン女王戦争」と呼ばれた。

設問1 [あ] ~ [き] の中の1~3の文章は、出来事を順不同に述べたものである。古い年代から新しい年代の順に並べると、それぞれどのような並び方になるか。適当なものを次の1~6より選び、その番号を解答欄Bに記入しなさい。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 1→2→3 | 2. 1→3→2 | 3. 2→1→3 |
| 4. 2→3→1 | 5. 3→1→2 | 6. 3→2→1 |

設問2 文中の①～⑱に入る最も適当な語句を〔 〕の中から選び、その番号を解答欄Cに記入しなさい。

設問3 下線部(a)～(e)について次の問いに答え、それを解答欄Aに記入しなさい。

- (a) マルコ＝ポーロは、父と叔父に従い中央アジアを経由して中国に渡り、それから中国の皇帝に仕えた。この皇帝は誰か。
- (b) この運動はイスラーム側の拠点（都）を陥落させることで完了した。この都を拠点としたイスラーム側の王朝は何王朝か。
- (c) ここでいう「ある条約」とは何条約か。
- (d) この帝国の首都の北方には、石造建築や灌漑の技術にすぐれた都市があった。この都市は何というか。
- (e) フランスはイタリアに進出して神聖ローマ皇帝と争ったが、1559年に締結されたある条約によってフランスはイタリアから撤退することになった。この条約は何条約か。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、設問1～4に答えなさい。

(50点)

18世紀から19世紀にかけ、それまで繁栄を誇っていた東西の大帝国の支配がしだいにゆるむ一方、経済的にも政治的にも大きく発展した欧米諸国の圧迫を受けてアジア諸地域は大きな変動を経験した。そうした動きのなかで、従来の国家の枠組みは変動を余儀なくされ、一部の地域は欧米諸国の植民地となる。その変動の内実は地域によってさまざまな様相を呈した。それでは、アジア東部における動きはどのようなものであったのだろうか。

中国では、清朝中期に人口が爆発的に増え、社会が流動化した。土地の不足による農民の貧困化や開墾による環境破壊は社会不安をうみだし、18世紀末には四川を中心とする新開地で（ a ）による反乱が起こった。この反乱は10年近く続き、清朝の財政を窮乏させた。一方、18世紀後半にヨーロッパ勢力は南北両面から東アジアへの進出を積極化し、清朝を中心とする従来の東アジアの国際秩序をゆるがせた。18世紀後半には清朝との最大の貿易相手国となっていたイギリスは、（ b ）1港のみにヨーロッパ向けの貿易港を限定するなどの清朝の海禁政策を変更させるべく、（ c ）を派遣して乾隆帝に自由貿易を要求したが、清朝は貿易を恩恵とみる立場をくずさず、その要求を認めなかった。

イギリスは、中国から茶の輸入が急速に増加する一方、産業革命で生産をのばした綿製品の販売が思わしくなく、輸入超過に陥っていた。その打開のため、19世紀はじめから中国へのアヘンの密貿易を拡大するようになった。清朝のアヘン対応策に不満をつのらせたイギリスはアヘン戦争を引き起こし、それに勝利すると南京条約を結び、自由貿易の原則を掲げて特許商人の組合である（ d ）を廃止させるなどした。

アヘン戦争後、重税による窮乏化や清朝統治に対する不安が強まると、民衆のあいだでは結社をつくってたすけあい、生活をまもろうとして農民運動がさかんに起こるようになった。その最たるものが洪秀全を指導者とする太平天国の乱であるが、各地で連鎖的に反乱が起き、安徽では無頼の民と農民とが結びついた（ e ）が活動した。こうした反乱は、（ f ）ら漢人官僚が郷里で組織した（ g ）の活躍により鎮圧されたが、一連の動乱は清朝中央や軍隊の無力ぶり

を明るみに出し、漢人官僚が勢力をのばすきっかけとなった。

太平天国の乱の後、国内の秩序が一時的に安定すると、①（同治の中興）、漢人官僚が中心となって体制の立て直しが図られ、富国強兵化をめざして西洋の学問や技術が導入された。^(a)

東南アジア地域は、19世紀前半までは強い勢力を保つ国家が多かった。西欧諸国がその交易の拠点となっていた港市の領域をこえて広い領土を植民地として支配するのは19世紀半ば以降であった。東南アジア大陸部では18世紀後半から19世紀にかけて、ビルマ、ベトナム、タイの3国につながる国家が形成された。ビルマはイギリスの侵入を受けて、②滅亡し、⁽⁷⁾その翌年、直轄領として（ h ）に併合された。ベトナムは阮福暎による統一後、清国に朝貢したが、フランスのインドシナ侵攻を受け、その保護国となった。フランスは清仏戦争を経て清国に宗主権を放棄させ、③フランス領インドシナ連邦を形成した。

東南アジアのうち、いち早く植民地化されたのは島嶼部である。フィリピンの大部分は17世紀はじめにスペイン領となり、マニラは19世紀はじめまで、大型の（ i ）船によって結ばれたメキシコ・中国間の中継交易で栄えた。スペインの支配のもとで住民のカトリック化が進むなかで、はやくから現地人司祭の任用を求める動きが高まった。教育を受けた新世代のフィリピン人が、19世紀後半からスペイン支配を批判し、民衆への啓蒙活動を開始するようになった。1880年代に入ると、（ j ）らが民族意識をめざめさせる言論活動を開始し、④フィリピン革命がはじまった。これにアメリカが介入し、米西戦争によってフィリピンの領有権を得ると、フィリピン＝アメリカ戦争を経てアメリカが本格的な統治を開始した。

古くから島嶼部の経済・文化の中心であったジャワ島は、18世紀中にオランダ東インド会社領となった。会社が1799年に解散し、19世紀初頭にはイギリス軍の占領下に置かれたが、その後オランダがジャワ島の支配を回復すると、1824年に英蘭協定を結び、（ k ）をはさんで勢力圏を分け合った。1830年代にジャワ戦争を鎮圧したオランダは、既存の賦役制度を利用した（ l ）をしき、コーヒー、サトウキビ、藍などの商品作物で利益を得た。他方でイギリスに対抗しつつジャワ島以外にも勢力を拡大したオランダは、⑤アチェ戦争でスマトラ島北端部を

平定し、現在のインドネシアに相当するオランダ領東インドを完成させた。イギリスは、インドから中国に至る航路の中継点としてペナンやマラッカなどを獲得していたが、英蘭協定にもとづき、海峡植民地から支配をのぼしてマレー半島南部と北ボルネオを領有した。労働者として大量の華僑や印僑が導入されるとともに複雑な多民族社会が形成されることとなった。

オセアニア地域には、スペイン、ポルトガル、オランダについて、18世紀になるとイギリスが、さらに19世紀になるとフランス、ドイツ、アメリカが進出した。18世紀後半、(m)の航海をきっかけにニューサウスウェールズがイギリスの植民地となった。はじめは流刑植民地であったオーストラリアは、その後自由移民も加わり、19世紀中期の金鉱発見後、急速に発展し、イギリス帝国の自治領・オーストラリア連邦が成立した。ドイツも1880年代以降、マリアナ諸島、マーシャル諸島などを獲得した。(n)は、西部はオランダ、東部はイギリスとドイツにそれぞれ分割された。アメリカは米西戦争の結果、スペインからフィリピンとともにグアムを獲得し、また、ハワイも併合した。

設問1 文中の (a) ~ (n) に入る最も適切な語句を次の語群から一つずつ選び、番号を解答欄Ⅱ-Aに記入しなさい。

【語群】

- | | | |
|------------|----------------|------------|
| 1. アギナルド | 2. アマースト | 3. インド帝国 |
| 4. 英領マレー | 5. 袁世凱 | 6. 会館・公所 |
| 7. ガレオン | 8. 郷紳 | 9. 強制栽培制度 |
| 10. 郷勇 | 11. 義和団 | 12. クック |
| 13. 公行 | 14. 広州 | 15. 康有為 |
| 16. 黒旗軍 | 17. ザミンダーリー制 | 18. ジャンク |
| 19. 上海 | 20. 常勝軍 | 21. スラウエシ島 |
| 22. スンダ海峡 | 23. 宋教仁 | 24. 曾国藩 |
| 25. タイ | 26. ダウ | 27. タスマン |
| 28. 団練 | 29. ニューギニア島 | 30. 寧波 |
| 31. 捻軍 | 32. 拝上帝会 | 33. バルボア |
| 34. 白蓮教徒 | 35. ホセ＝リサール | 36. ポリネシア |
| 37. ボルネオ島 | 38. マカートニー | 39. マラッカ海峡 |
| 40. ミクロネシア | 41. 南シナ海 | 42. ミャオ族 |
| 43. ムガル帝国 | 44. ライヤットワーリー制 | |
| 45. ラクスマン | 46. 李自成 | |

設問2 波線部(ア)～(オ)について、以下の問いに対する答えを解答欄Ⅱ－Bに記入しなさい。

ア 波線部(ア)について、イギリスに滅亡させられたビルマの王朝名を何と
いうか。

イ 波線部(イ)について、ジャワ島に対する英蘭両国の支配の動向は、18世紀末から19世紀初めにかけての当時のヨーロッパ情勢に強く影響されている。ヨーロッパ秩序を再建し、オランダがジャワ島支配を回復する契機となった国際会議を何と
いうか。

ウ 波線部(ウ)について、1963年にマラヤ連邦を中心に成立したマレーシアから、マレー人優遇政策への不満を背景に分離・独立した国家は何か。

エ 波線部(エ)について、アジア系移民の移住を制限し、有色人種を差別するオーストラリアの政策を何と
いうか。

オ 波線部(オ)について、第一次大戦後これらの地域は、日本の実質的な植民地支配を受けた。国際連盟の監督下に敗戦国の支配下にあった非独立地域が戦勝国の支配を受けるこの統治方式を何と
いうか。

設問3 二重下線部(a)の洋務運動の内容として適切でないものを次の1～5から
選び、解答欄Ⅱ－Aに記入しなさい。

1. 鉄道建設や鉱山開発が進められた。
2. 日本へ留学生が数多く派遣された。
3. 北洋艦隊などの新式海軍が編成された
4. 外交担当官庁として総理衙門が新設された。
5. 中体西用論の立場をとる運動であった。

設問4 下線部①～⑦にかかわる次の項目を左から古い順に時系列に並べたとき、2番目と5番目に該当する組合せを選び、その番号を解答欄Ⅱ-Aに記入しなさい。

- ① 同治の中興はじまる
- ② 第3次ビルマ戦争によるビルマの王朝滅亡
- ③ フランス領インドシナへのラオス編入
- ④ フィリピン革命はじまる
- ⑤ アチェ戦争を経てオランダ領東インドが完成
- ⑥ マレー半島の4保護国と協定を結び、マレー連合州を形成
- ⑦ オーストラリア連邦成立

1. ④-⑤

2. ⑥-④

3. ⑦-③

4. ②-⑦

5. ①-⑥

6. ②-③

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、設問1～18に答えなさい。

(50点)

産業革命はどの世界史の教科書にも載っていて、ジョン＝ケイの飛び杼、(ア)のジェニー紡績機、クロンプトンの(イ)、カートライトの蒸気機関を使った力織機といった機械の発明・改良を前提とした特に綿工業における工場制度の展開と、その後の機械産業、鉄鋼業の発展をめぐるイギリスの世界資本主義、帝国主義への成長を語るものとして描かれることが多い。さらに機械生産の効率の向上に貢献した(ウ)の蒸気機関の発明、ワットの改良など、いずれにしてもイギリスが機械技術を次々に発明し、たゆまない改良が行われたことがイギリスを世界で最初の工業国家に押し上げたという物語を不動のものとした。一方、こうした機械化と工場制度はいわゆる労働者階級を生み出し、またこの制度を牽引した資本家たちが資本家の支配する資本主義を生み出したとする言説が一般化した。大まかに見て、こうした道筋は間違っているわけではない。新しい機械が次々に生み出され、それが生産力の向上に大きく貢献したことは事実であるからである。イギリスは18世紀の後半にこうした技術革新を契機として世界をリードする工業国家となった、ということを前提として、なぜイギリスで最初に産業革命が起きたのか、ということを問う歴史家が現れた。(……中略……)

1845年、ドイツからイギリスにやってきて綿工業の経営者となったエンゲルスは『イギリス労働者階級の状態』を著し、産業革命がもたらした労働者階級に対する悲惨な状況を糾弾し、彼らの状況を当然のごとく見なし自らの保身と利益の収奪を第一とする中産階級、資本家たちを鋭く批判した。19世紀の半ばまでに、エンゲルスのみならず、産業資本家の利益追求を批判し、労働者階級の立場に同情し、彼らの救済を第一に考える社会主義者がイギリスだけではなくフランスやドイツにも輩出された。サン＝シモン、シャルル＝フーリエなど社会改革を主張したが、産業革命のもたらした諸結果のうち、負の遺産を強調する政治家、思想家などは多数存在した。また19世紀に入ると、イギリスでは労働者の悲惨な状態は議会でも問題視され、王立委員会が次々に組織され、児童や婦人の長時間労働を制限し、工場監督官制度の成立などが見られ、一定の歯止めをかけようという動きもあった。(……中略……)

1840年代以降、イギリスは経済の回復に向かうが、イギリス以外の国々の工業化、キャッチアップが見られると、帝国の拡大にもかかわらず、イギリスにも再び不況が訪れる。1880年代には、イギリス国内での不況と、それに対する社会改革の声が強まるようになると、社会主義の復活と新しいイギリス建設への希望が社会運動として出現する。(……中略……)

19世紀後半から20世紀のはじめ、第一次大戦の終わる頃までの産業革命についての言説の主流は、このように批判的なものであり、その論点は機械化、工場化、そして自由貿易主義（レッセ・フェール。これはひいては利益のためには何をやってもよい、という資本家たちの主張になっていく）、その結果の働く人びとの生活の崩壊であった。そして産業革命はこのような大きな変化をイギリス国民に劇的なかたちでもたらしたものである、ということであった。それ以前の社会との断絶が強調されたのである。産業革命を批判的に論述した人びとの多くは、国家による弱者の救済を主張していた。ウェッブ夫妻は（工）の指導者であり、後の労働党の成立にも貢献した。

草光俊雄・甚野尚志『ヨーロッパの歴史Ⅰ—ヨーロッパ史の視点と方法—』放送大学教育振興会、2015年より [ただし出題に当たり原文の一部が改変されている]

設問1 下線部 a について、ジョン＝ケイの飛び杼の発明の結果として正しいものを次の1～5より選び、番号を解答欄Aの(1)に記入しなさい。

1. ジョン＝ケイの飛び杼が発明されると綿織物の生産量が急速に増大し、綿糸が不足した。
2. ジョン＝ケイの飛び杼が発明されたが、目的としていた織布工程の機械化は進まなかった。
3. ジョン＝ケイの飛び杼は毛織物しかなかった中東地域に綿織物を輸出するために開発された。
4. ジョン＝ケイの飛び杼は綿織物の紡績工程の機械化を目的として開発され、それが実現された。
5. ジョン＝ケイの飛び杼が発明されたのは17世紀の後半であり、普及したのは18世紀の前半である。

設問2 空欄（ア）について、当てはまる人物名として正しいものを次の1～5より選び、番号を解答欄Bの(1)に記入しなさい。

1. オCONNELL
2. アークライト
3. トマス＝ペイン
4. ハーグリーブズ
5. トマス＝ジェファソン

設問3 空欄（イ）について、当てはまる機械の名称として正しいものを次の1～5より選び、番号を解答欄Bの(2)に記入しなさい。

1. ノーベル力織機
2. ミュール紡績機
3. ファラデー力織機
4. ボイル蒸気紡績機
5. ハーヴェー水力紡績機

設問 4 下線部 b について，カートライトの蒸気機関を使った力織機が発明される背景として正しいものを次の 1～5 より選び，番号を解答欄 A の(2)に記入しなさい。

1. 発明はされたものの実用化に至っていなかった蒸気機関を，ジェームズ 1 世から力織機の動力源とする布告があった。
2. イギリスの手織工の技術水準が低く，綿布の国際市場においてオランダをしのぐには織布工程の機械化が不可欠だった。
3. 紡績工程での発明により良質で安価な綿糸の大量生産が可能となり，それに見合った織布工程の技術革新が求められた。
4. 力織機の動力源として蒸気機関を実用化するフランスとの競争において，チャールズ 1 世が公債発行による資金提供を提案した。
5. 紡績工程での発明によっても綿糸の生産規模は拡大せず，織布工程の技術革新を先行させ，安価で良質な綿糸の生産を促したかった。

設問5 下線部cについて、綿工業に関する記述として誤っているものを次の1～5より選び、番号を解答欄Aの(3)に記入しなさい。

1. 市場に向けての大量生産を可能にする技術革新は、マンチェスターを中心にまず綿工業の分野で始まった。
2. 18世紀を通じて発展したイギリスとアフリカそしてアメリカを結ぶ三角貿易において、綿工業はイギリス本国から大量に輸出できる商品が必要となって急成長した。
3. 17世紀にイギリスに輸入された綿布は大いに歓迎されたが、毛織物産業を圧迫したために輸入が禁止され、海外から綿花を輸入しイギリス国内で加工するようになった。
4. 綿工業の発展は、機械を製造する機械工業、機械の原料である鉄をつくる鉄工業、鉄の生産で使われる石炭を生産する石炭業など他の部門の飛躍的な発達を導いた。
5. 毛織物に比べて綿織物は軽くて肌ざわりがよく、洗濯も容易で、艶やかな染色も可能であったので、東インド会社が南アフリカからイギリスに大量に輸入し爆発的な人気を得た。

設問6 下線部1について、鉄鋼業の発展の基礎には木炭のかわりに石炭を加工したコークスを燃料とする製鉄法の発明があったが、これを行った人物の名を解答欄Cの(1)に記入しなさい。

設問7 空欄(ウ)について、当てはまる人物名として正しいものを次の1～5より選び、番号を解答欄Bの(3)に記入しなさい。

1. デフォー
2. ミルトン
3. スウィフト
4. ジェンナー
5. ニューコメン

設問8 下線部2について、蒸気機関を動力とする蒸気機関車が実用化され、1830年には商用旅客鉄道線が開業するが、それはマンチェスターとどこの間を結んでいたか、解答欄Cの(2)に記入しなさい。

設問9 下線部dについて、「世界の工場」となったイギリスの貿易政策に関する記述として正しいものを次の1～5より選び、番号を解答欄Aの(4)に記入しなさい。

1. 産業資本家は、イギリスからの商品輸出にともなう技術流出を恐れて、輸出品に高い関税をかけて輸出抑制の立法を議会に求めた。
2. 産業革命で人口が激増すると穀物の需要増により価格が高騰したため、労働者は穀物の輸入抑制を唱える産業資本家と対立した。
3. コブデンやブライトらが参加した反穀物法同盟による運動の結果、穀物法が1846年に廃止されたことは自由貿易政策における画期的なできごとであった。
4. 1815年に改定された穀物法では、ヨーロッパ大陸諸国からの穀物の輸入許可価格が低く設定され、一定の価格以上での穀物の輸入が完全に禁止された。
5. 穀物法によってアイルランドへの穀物輸出が奨励され、イギリスの労働者の主食はジャガイモとなっており、1840年代と続く50年代に飢饉が頻発し餓死する者も多かった。

設問10 下線部3について、これによって生活を脅かされた者たちの抵抗運動の名称を、解答欄Cの(3)に記入しなさい。

設問11 下線部 e について、イギリスで最初に産業革命が起きた背景として正しいものを次の1～5より選び、番号を解答欄Aの(5)に記入しなさい。

1. 植民地との交易や中国とブラジルとを結ぶ三角貿易からの利益によって資本の蓄積が16世紀から行われ、イギリスの工業化の拡大を助けたから。
2. イギリスでは国家が重商主義政策をとり、大航海時代から七年戦争にいたるヨーロッパ諸国の政治的・経済的な覇権争いで優位にたち、広大な海外市場を確保したから。
3. 18世紀には、市場向けの羊毛生産のために第1次囲い込みがイギリスで大規模におこなわれ、土地を失った農民が都市に流入して豊富な労働力を工業に準備したから。
4. 名誉革命以降、イギリス国内では共和制のもとで政治が安定し、自由な経済活動を促進する特許状やギルド組織が登場し、意欲的な企業家が現れていたから。
5. イギリスは、銀・鉄などの資源にめぐまれ、自然科学と技術の進歩も17世紀以来めざましく、新しい生産技術が発明されれば、即座に実用化できる社会が形成されていたから。

設問12 下線部 f について、エンゲルスに関する記述として正しいものを次の 1～5 より選び、番号を解答欄 A の(6)に記入しなさい。

1. エンゲルスはアメリカに渡り、ニューハーモニーと命名した共同体で実験的に共産主義社会の運営を試みた。
2. 資本家でありながら社会革命を志向するエンゲルスは、プルドンによって「空想的社会主義者」と批判された。
3. エンゲルスは『共産党宣言』を友人のマルクスと協力して発表し、労働者の国際的団結による社会主義の実現を訴えた。
4. エンゲルスはスコットランドのグラスゴー郊外に、ニューラナークと名づけた共産主義的工場都市の理想的モデルをつくった。
5. 世界同時革命を志向するエンゲルスは、ルイ＝ブランと協力して「すべての権力をソヴィエトへ」を発表し、生産の国家統制をめざした。

設問13 下線部 g について、サン＝シモンの社会改革の主張として正しいものを次の 1～5 より選び、番号を解答欄 A の(7)に記入しなさい。

1. 資本家に代わって、国家の主導によって生産労働を組織化する。
2. 個人の自由を抑圧する一切の政治的権威を否定し、個人を解放する。
3. 労働者の武装蜂起により内乱を起し、一挙に革命戦争に転化させる。
4. 資本主義の弊害を除去し、友愛の精神に基づく平等な社会を建設する。
5. ベンサム of 哲人政治にならって、資本主義の無政府性を有能な個人が統制する。

設問14 下線部 h について、数次にわたって出された工場法のなかで、年少者の労働時間を制限する実効性のある工場法が制定された年として正しいものを次の 1～5 より選び、番号を解答欄 B の(4)に記入しなさい。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 1802年 | 2. 1819年 | 3. 1824年 |
| 4. 1833年 | 5. 1848年 | |

設問15 下線部 i について、この時期に行われた第3回選挙法改正に関する記述として正しいものを次の1～5より選び、番号を解答欄Aの(8)に記入しなさい。

1. 農業労働者にも、この改正で選挙権が与えられ、参政権の拡大により民主化が進んだ。
2. 腐敗選挙区がこの改正で廃止となり、その分の議席が人口の多い州に配分し直された。
3. この改正後も、議員の財産資格の廃止など6カ条からなる人民憲章を掲げての請願運動が続けられた。
4. 改正後の選挙結果を受けて、任命制の貴族院に対して公選制の庶民院の優越を認める議会法が成立した。
5. 21歳以上の男性と30歳以上の女性に選挙権が与えられたが、選挙権の男女平等を求める声が高まった。

設問16 下線部 4 について、こうした考え方に立つ古典派経済学を代表するアダム＝スミスの著作名を解答欄Cの(4)に記入しなさい。

設問17 空欄 (エ) について、知識人を中心にした改良主義を掲げる、穏健な社会主義団体の名称を解答欄Cの(5)に記入しなさい。

設問18 下線部 j について、労働党に関する記述として正しいものを次の 1～5 より選び、番号を解答欄 A の(9)に記入しなさい。

1. 1929年の総選挙で労働党は初めて第一党となり、グラッドストーンが首相に下院で指名され、単独で初めて政権についた。
2. 1905年に自由党との連立により成立した労働党内閣は、連立に不満を抱く党員が独立労働党を結党したために総辞職した。
3. 1923年の総選挙で第二党となった労働党は、翌1924年に自由党と連立して初めて政権につき、第1次マクドナルド内閣が誕生した。
4. 1918年、ジョゼフ＝チェンバレンを首相とする初の労働党内閣が誕生するが、これ以降は自由党が衰退し、保守党と労働党の二大政党時代をむかえた。
5. 1906年に政党の再編がすすみ、資本家の利益を代弁するトーリー党は自由党に、労働者の利益を代表するホイッグ党は労働党に、それぞれ党名変更をおこなった。

政治・経済

〔 I 〕 次の文章を読み、下の設問（設問 1～設問 6）に答えよ。 (36点)

日本国憲法第25条は、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」(1項)、「国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」(2項)と規定して、国民の生存権^㉓の保障と、社会福祉、社会保障^㉔、公衆衛生の向上・増進に関する国の責務を確認している。この規定に基づき、1950年には社会保障制度審議会により「社会保障制度に関する勧告」が出され、社会保険^㉕、公的扶助^㉖、社会福祉^㉗、公衆衛生の4つの部門からなる社会保障制度の基本的枠組みが示されるとともに、社会保障制度の整備が進められた。

こうした日本における社会保障制度については、近年、少子高齢化の進展や財政上の限界などを背景として、世代間の公平性を保ち、制度の持続可能性・安定性を確保するために、制度改革の必要性が高まっている。最近では、「社会保障と税の一体改革」の実現が目指され、2012年に社会保障制度改革推進法^㉘などが制定された。その後も、医療・介護を中心とした制度改革が引き続き押し進められている。

【設問 1】 下線部㉓に関連して、問題となった裁判例として最も適切なものを、次の 1～4 のうちから 1 つ選び、その番号を解答欄 I - 乙に記入せよ。

1. 朝日訴訟
2. 津地鎮祭訴訟
3. 苫米地訴訟
4. 芝信用金庫訴訟

【設問2】下線部㊦に関連して、以下の文章の（ア）と（イ）に入る最も適切な語句を、解答欄I-甲のアとイにカタカナで記入せよ。

社会保障の源流は、イギリスの（ア）救貧法（1601年）に端を発する公的救貧制度と、ドイツの（イ）によって制定された疾病保険法（1883年）などに基づく労働者保険制度にさかのぼることができる。

【設問3】下線部㉔に関連して、日本の社会保険制度に関する以下のa～jの記述について、正しいものには数字の1を、正しくないものには数字の2を、解答欄I-乙のa～jに記入せよ。

- a. 1959年の国民年金法の制定によって、1961年には国民皆年金体制が作られた。
- b. 労災保険制度は、業務上の災害につき被災した労働者ないしその遺族を補償するものであるが、保険料は労使折半により賄われる。
- c. 介護保険制度は、介護が必要になった被保険者に対して、要介護認定を行った上で、在宅（居宅）または施設での介護サービスなどを提供するものである。
- d. 2008年に、老人保健制度にかわり、70歳以上の高齢者を対象にした後期高齢者医療制度が創設された。
- e. 雇用保険制度では、労働者は育児や介護を理由に休業した場合にも給付を受けることができる。
- f. 1985年の国民年金法の改正によって、1986年から基礎年金制度が実施された。
- g. 健康保険は、20歳以上の被用者が加入する医療保険制度である。
- h. 国民年金の第2号被保険者には、専業主婦（主夫）が該当する。
- i. 介護保険の財源は、原則として、日本に住所を有する45歳以上の者の保険料と税金からなる。
- j. 健康保険が適用される診療（保険診療）と、健康保険が適用されない自己負担による自由診療（保険外診療）を組み合わせた診療形態（いわゆる混合診療）は原則禁止されている。

【設問4】下線部④に関連して、社会福祉法に基づいて設置された社会福祉行政を担当する現業機関であって、生活保護法に基づく事務などを行う行政機関は何か。最も適切なものを、次の1～4のうちから1つ選び、その番号を解答欄I-乙に記入せよ。

1. 地域包括支援センター
2. 福祉事務所
3. 公共職業安定所（ハローワーク）
4. 都道府県労働局

【設問5】下線部⑤に関連して、社会福祉事業に協力する地域ボランティアであって、各市町村ごとに推薦され、厚生労働大臣により委嘱される者を何というか。最も適切な語句を、解答欄I-甲に漢字4字で記入せよ。

【設問6】下線部⑥に関連して、この法律に基づき、社会保障制度について検討するために内閣に設置された機関名を、「社会保障制度改革（ウ）」という。（ウ）に入る最も適切な語句を、解答欄I-甲に漢字4字で記入せよ。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下の設問（設問1～設問9）に答えよ。（36点）

2010年6月に小惑星探査機「(ア)」が、約7年間の宇宙航行を経て、小惑星「イトカワ」の物質を地球に持ち帰るという世界初の快挙を成し遂げた。このプロジェクトのサポートチームを構成する118機関のうち、約4分の1を中小企業が占めていた。世界的に有名なトヨタ自動車のかんばん方式でも、大部分の部品は、トヨタ自動車の下請けとなっている中小企業が供給している。このように中小企業は、日本経済のさまざまな分野で重要な役割を果たしている。

④ 1999年に改正された中小企業基本法では、製造業でいえば資本金3億円以下の会社、常時雇用する従業員300人以下の会社および(A)を中小企業と定義している。また、小売業では資本金5000万円以下、または従業員(B)人以下の企業が中小企業に該当する。2014年版の『中小企業白書』によると、日本の企業のうち、中小企業は事業所数の約99%、製造業出荷額の約49%、従業員数の約75%を占めている。

以上のように中小企業は日本経済を根幹から支えている存在であるが、その一方で、大企業との格差が古くから指摘されてきた。すなわち、中小企業は大企業に比べて、資本装備率や労働生産性、賃金や労働条件の面で劣る場合が多く、日本経済の(C)として問題とされてきた。一部の産業分野では、中小企業が大企業の下請け④として生産活動を行い、劣悪な生産・労働条件を強いられる例もある。

1963年に制定された中小企業基本法は、その格差の是正を図ったものであり、中小企業の取引条件を向上させ、近代化投資を促すことが目指された。

その結果、(C)は高度経済成長の過程でかなり改善されるようになった。高い経済成長が続き、労働力が不足していたために、中小企業労働者の賃金は大企業労働者のそれを上回る率で上昇した。同時に技術革新も進められ、大企業との生産性の格差も縮小の方向に向かった。しかし、NIE S⑤に代表される新興工業国の勃興や、1985年のプラザ合意以降の円高の影響などにより、特に海外製品との競争を迫られる諸産業が大きな打撃を受けた。また、(D)年から開かれた日米構造協議⑥の結果、アメリカによる市場開放の要求が強まり、経済摩擦が

激化する中、中小企業は苦しい立場に立たされた。さらに、1990年代の「(E) 不況」以降に、中小企業をめぐる環境は急変した。製造業のみならず、流通分野でも1973年に制定された (F) の運用基準が緩和され、大型店舗の出店が容易になったことで、商店街に代表される中小小売店は厳しい競争に直面するようになった。

他方、独自の製品や生産技術を生かし、成長をとげている中小企業も少なくない。特に近年には、⑧ リスクを恐れないチャレンジ精神と高い専門性にに基づき、IT分野のような知識集約的な産業で新たな市場を開拓するベンチャー企業や、高い製品力や独自のアイデアで大企業が進出しにくいすき間市場で強力な地位を構築するニッチ型の中小企業も数多く存在する。

【設問1】文中の (A) ~ (F) に入る最も適切な語句を、下の語群から1つ選び、その番号を解答欄Ⅱ-乙のA~Fに記入せよ。

[語群]

- | | | |
|--------------|---------|----------------|
| 1. 民間企業 | 2. 1989 | 3. 50 |
| 4. 経済格差 | 5. 円高 | 6. まちづくり三法 |
| 7. 1987 | 8. 間接差別 | 9. 平成 |
| 10. 大規模小売店舗法 | 11. 30 | 12. 個人 |
| 13. 法人 | 14. なべ底 | 15. 大規模小売店舗立地法 |
| 16. 1985 | 17. 100 | 18. 二重構造 |

【設問2】文中の (ア) に入る最も適切な語句を、解答欄Ⅱ-甲にひらがな4字で記入せよ。

【設問3】下線部㉑に関連して、改正された中小企業基本法の基本方針として適当でないものを、次の1～4のうちから1つ選び、その番号を解答欄Ⅱ-乙に記入せよ。

1. 中小企業者の経営の革新
2. 有望な中小企業経営者の発掘
3. 創業の促進
4. 創造的な事業活動の促進

【設問4】下線部㉒に関連して、以下のg～kの記述について、正しいものには数字の1を、正しくないものには数字の2を、解答欄Ⅱ-乙のg～kに記入せよ。

- g. どこまでの規模の企業を中小企業とみなすかの基準は国によって異なる。
- h. 日本の場合、サービス業では中小企業と大企業を区分する基準として、規模（資本金や従業員数）以外に、利益率などの経営成果も用いられる。
- i. 全体企業数の中で中小企業が圧倒的多数を占めるのは、日本も欧米も同じ傾向である。
- j. 中小企業は規模が相対的に小さいために、大企業に比べて資金調達が容易である。
- k. 大企業の下請けになっている中小企業は、景気の影響を受けやすい。

【設問5】下線部㉓に関連して、そのような現象の要因として適切なものを、次の1～4のうちからすべて選び、その番号を解答欄Ⅱ-甲に記入せよ。

1. 中小企業では家族経営中心の零細企業が大半を占めること。
2. 中小企業では大企業より労働組合の組織率が低いこと。
3. 大企業が中小企業の「景気の調整弁」としての役割を担うこと。
4. 中小企業は大企業に比べ十分な設備投資ができない場合が多いこと。

【設問6】下線部㉔に関連して、以下の文章の（ L ）～（ N ）に入る最も適切な語句を下の語群から1つ選び、その番号を解答欄Ⅱ－乙のL～Nに記入せよ。

株式保有、役員派遣、技術・資金の供与などを通じて密接な取引関係を継続的・（ L ）に結ぶ場合がある。このような（ M ）関係に対して、旧財閥や銀行を核にしてかつての関連企業が（ N ）に結びつくのが企業集団である。

[語群]

- | | | |
|-----------|-------------|--------|
| 1. 垂直的 | 2. アウトソーシング | 3. 競争的 |
| 4. 異業種間交流 | 5. 開放的 | 6. 単発的 |
| 7. 系列 | 8. 水平的 | 9. 分散的 |

【設問7】下線部㉕に関連して、とりわけ1980年代以降急速に経済を発展させてきたアジアの国や地域の組み合わせとして適切なものを、次の1～4のうちから1つ選び、その番号を解答欄Ⅱ－乙に記入せよ。

1. 韓国・香港・シンガポール・中国
2. 韓国・タイ・台湾・中国
3. 韓国・香港・台湾・シンガポール
4. インドネシア・香港・シンガポール・中国

【設問 8】 下線部㉔に関連して、その記述として正しくないものを、次の 1～4 のうちからすべて選び、その番号を解答欄Ⅱ－甲に記入せよ。

1. 日本の対米貿易赤字を是正することを目的とした協議である。
2. 日本における国産品・輸入品の内外価格差が問題視された。
3. アメリカ企業の輸出競争力の強化が改善目標として取り上げられた。
4. 日本の過度な公共投資が指摘され、その縮小が約束された。

【設問 9】 下線部㉕に関連して、以下の文章の（ イ ）に入る最も適切な語句を、解答欄Ⅱ－甲にカタカナ 6 字で記入せよ。

ベンチャー企業育成のための新しい株式市場として、日本では「（ イ ）」のほか、東京市場に「マザーズ」、大阪市場に「ヘラクレス」、札幌市場に「アンビシャス」などが創設された。このうち（ イ ）とヘラクレスは2010年に統合した。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下の設問（設問1～設問5）に答えよ。（36点）

大日本帝国憲法の思想的基点として「公論」と「尊王」が指摘されることがある。この二つの思想が台頭するきっかけとなったのは黒船来航という幕末の大事件であった。江戸幕府の時の老中・阿部正弘はそれまでの幕府専裁という政策決定スタイルを転換し、広く諸大名に意見具申を求めたことで、公論が定着していった。公論はその後1868（慶応4・明治元）年3月に発せられた明治新政府の基本方針たる（A）の第1条「広く会議ヲ興シ…」に反映されることになる。一方、尊王思想^aは、幕末において、徳川幕府支配の正統性を否定する理論として「攘夷思想」とともに一世を風靡することとなった。

明治新政府が1868年閏4月に発布した「政体書」は、「太政官ノ権力ヲ分ツテ立法行法司法ノ三権トス則偏重ノ患無ラシムルナリ」とするなど、欧米流の（B）思想を採り入れていた。1871年に太政官制が改められ、太政官中に正院・左院・右院が置かれることになった。このうち左院は官選の議員で構成され、法制関連事項を議決する議事機関であった。同年、岩倉具視を全権特命大使とする使節団が欧米諸国に派遣されている間、国内では（C）の設置が左院で取り上げられ、「国憲編纂」（＝憲法制定）の気運が高まっていくことになる。

1876年、元老院議長・熾仁（たるひと）親王（有栖川宮）に憲法草案の起草を命ずる勅語が下され、4人の議官が国憲取調委員に就任した。その後、委員たちは、1880年まで三次にわたって憲法草案を提出した。しかし、国民が議会を通じて君主や行政権を制約するという近代立憲主義^bを採り入れた内容であったことから、統治権を天皇に集中させたいと考えていた岩倉具視ら政府首脳の間には容れられなかった。

1879年12月、右大臣・岩倉具視は政府首脳である諸参議に対し、日本国にふさわしい憲法につき意見を求めた。このうち、大隈重信から出された意見^cは議院内閣制や人民の権利章典を憲法に規定すべきだ等とする点で、他の参議の意見とは大きく異なるものであった。しかし、大隈らは、この時期に勃発した「北海道開拓使官有物払下げ事件」を口実に、政府内から追放され下野することになった。この出来事を（D）という。追放に先立ち、岩倉は、憲法は欽定とすること、

君主権が強い（ E ）憲法をモデルとすることといった内容の意見書を太政大臣の三条実美らに提出した。

1882年3月、政府は参議の伊藤博文に対して欧州各国での憲法調査を命じた。伊藤一行は欧州各地で調査研究を重ね、翌年8月に帰国する。その間、数人の学者から講義を受けたが、憲法制定を含めた後の伊藤らによる制度設計に最も大きな影響を与えたのは、ウィーン大学のローレンツ＝フォン＝シュタイン教授であった。同教授は講義の中で、国家を人体にたとえ、君主はいわば頭部であり、国家の良知は君主に存するという国家有機体説を論じた。この考え方は、大日本帝国憲法第4条「天皇ハ國ノ元首ニシテ統治權ヲ總攬シ此ノ憲法ノ條規ニ依リ之ヲ行フ」に反映されたと言ってよい。

当時の東京帝国大学法学部教授で、ドイツ留学中に国家法人説で有名なゲオルグ＝イェリネックに師事した美濃部達吉は、1912年に書かれた『憲法講話』において、この第4条の解釈として「天皇は国家の最高機関」であり、国家の主権はその最高機関である天皇にあると説いた。これに対して、同じ東京帝国大学法学部教授であった上杉慎吉は国家の主権が現人神としての天皇そのものに存するという天皇神権論で反論し、両者の間で激しい論争が行われた。しかし、皇族に進講したり政府や軍部高官にも強い影響力を持っていた上杉の天皇絶対論がやがて圧倒的優位を占めるようになり、天皇を政治的のみならず精神的・倫理的中心として崇拜する（ F ）という特異な国家体制を思想的に支えることとなった。その結果、美濃部は、1935年にその著書の一部が発禁処分を受け、また天皇を侮辱したとする不敬罪で告発され、さらに貴族院議員辞職も余儀なくされることとなった。

大日本国憲法においては、議会は天皇の立法権に（ G ）する機関であった。しかし、立法権者としての天皇は議会の同意なしに官制や学制等の（ H ）を発することができた。各国务大臣は内閣総理大臣の指揮命令を受けることなく天皇を（ I ）して行政権を行使することができた。また、陸海軍の指揮命令権は、議会や内閣も関与できないものであり、これを（ J ）という。国民の権利・自由について言えば、それは天皇が臣民に与えた権利として（ K ）内で保障されるものに過ぎなかった。国民の信教の自由も、（ L ）が事実上の国

の宗教として扱われたことで、著しく制約されることとなった。

【設問1】文中の（ A ）～（ L ）に入る最も適切な語句を、下の語群から1つ選び、その番号を解答欄Ⅲ-乙のA～Lに記入せよ。

[語群]

- | | | |
|-------------|------------|-------------|
| 1. 権力分立 | 2. 輔弼 | 3. 統治行為 |
| 4. 明治14年の政変 | 5. 行政手続 | 6. プロイセン |
| 7. 王政復古 | 8. 協賛 | 9. 勅令 |
| 10. 天皇主権 | 11. 枢密院 | 12. 法律の範囲 |
| 13. 五日市憲法草案 | 14. 秩父事件 | 15. フランス |
| 16. 民撰議院 | 17. 政令 | 18. 五箇条の誓文 |
| 19. 国体 | 20. 元老 | 21. 外見的立憲主義 |
| 22. 統帥権の独立 | 23. 諮問 | 24. 助言 |
| 25. キリスト教 | 26. 三・一五事件 | 27. ベルギー |
| 28. 補佐 | 29. 国家神道 | 30. 法定手続 |
| 31. 国事行為 | 32. 衆議院 | 33. 天皇大権 |
| 34. 靖国神社 | 35. 支配の正統性 | 36. 象徴 |

【設問2】下線部㉓に関連して、以下の文章の（ ア ）に入る最も適切な語句を、解答欄Ⅲ-甲に記入せよ。ただし、新字体で構わない。

この思想は、日本国を支配する天皇の権威は天照大神に由来し、血統を通じて代々継受されるべきものと主張したが、その考え方は、大日本帝国憲法第1条「大日本帝國ハ（ ア ）ノ天皇之ヲ統治ス」に反映されていると言える。

【設問3】下線部㉔に関連して、近代立憲主義に基づく史上初の成文憲法を制定した国名を、解答欄Ⅲ-甲に記入せよ。

【設問 4】 下線部㉓に関連して、大隈重信がモデルとした国名を、解答欄Ⅲ一甲に記入せよ。

【設問 5】 下線部㉔の事件名を、解答欄Ⅲ一甲に記入せよ。

〔Ⅳ〕 次の文章を読み、下の設問（設問1～設問7）に答えよ。（42点）

「経済」とは何か。なぜ「経済」をめぐる、激しい政策論争や政治対立が起きるのか。

私たちは貨幣を支払うことで、だれが、どこで、どのように作ったかも知らない、さまざまな工業製品や農産物を消費できる。

近代的な市場経済が成立したのは、市民革命と産業革命を経たイギリスなどの西ヨーロッパであった。市場経済では、商品として、ますます多くのものが貨幣で売られるようになった。消費者や企業の行動は、需要と供給によって説明される。

生産手段を所有する資本家と、労働することで賃金を得るしかない労働者からなる資本主義には、深刻な問題があった。ほぼ10年ごとに繰り返される恐慌は、急速な都市化とともに、失業と貧困問題を悪化させた。普通選挙制度の広がりにより、労働条件に加えて、深刻な都市問題や社会問題に関しても労働者たちは政府に対策を求めた。

資本主義初期の（ A ）の時代には、中小の企業が活発な競争と投資を行った。しかし、利潤を蓄積した企業は規模を拡大し、他の企業を吸収・合併することで市場支配力を強めた。19世紀後半には、化学・鉄鋼など、重工業が経済において重要な地位を占めるようになった。資本主義経済の性格は変化し、少数の企業や銀行が政府に強い影響力を持った。政府は国外に新しい市場と投資先を求め、植民地を獲得したため（ B ）の時代になった。

以上のことはずっと昔の話だ、と思うかもしれない。しかし現在も、政府が経済の問題をすべて解決できるわけではない。

たとえば、物価である。1970年代にはインフレーションが注目された。それは不況と重なるスタグフレーションにもなった。現在は、デフレーションが問題になっている国もある。

貨幣と金融は、発達した市場経済を機能させるのに不可欠だ。主要な資本主義国では、物価や金利、為替レートが市場によって決定され、ときには大きな変動

を示す。1987年半ばから1990年初めまで、日本ではバブル景気が生じた。

銀行は信用創造を行い、それによって資金を供給できる。しかし、債務の返済が遅れたり、債務不履行が生じたりすると、銀行の信用が失われ、預金の引き出しが始まることもある。銀行システムやその国の貨幣が信用を失えば、銀行や政府でさえ破綻するおそれがある。中央銀行は金融危機を止める重要な役割を担う。

金融自由化は中央銀行の行動にも強い影響を与えた。国内のマネーストックと為替レートの変動とが緊密に結びつき、新しい金融商品や、インターネットなど新技術の導入、金融機関の相互の競争激化など、市場が大きく変化する中で、物価水準や金融秩序の維持は難しくなっている。銀行には自己資本比率規制が設けられ、預金者による金融機関の選択が重視されるようになった。

他方、労働者が高齢化すると労働コストが上昇し、終身雇用制や（ C ）賃金体系を維持できない企業も増えた。雇用不安が高まる中で、一人当たりの労働時間と賃金を減らして雇用の水準を維持する（ D ）や、従来の就労形態にとられない新しい仕事も生まれている。

【設問 1】文中の（ A ）～（ D ）に入る最も適切な語句を、下の語群から 1 つ選び、その番号を解答欄Ⅳ－乙の A ～ D に記入せよ。

[語群]

- | | | |
|---------------|-----------|--------------|
| 1. ニューディール | 2. 人材銀行 | 3. 職務給型 |
| 4. 福祉国家 | 5. 社会主義 | 6. オープン・ショップ |
| 7. 能力別 | 8. 帝国主義 | 9. 全体主義 |
| 10. ワークシェアリング | 11. 年功序列型 | 12. 自由主義 |

【設問 2】下線部②は、貨幣の支払い手段としての機能である。他の異なる 3 つの「貨幣の機能」をすべて、解答欄Ⅳ－甲に記入せよ。

【設問 3】 下線部㉔に関連して、市場メカニズムに関する以下の e～g の記述について、正しいものには数字の 1 を、正しくないものには数字の 2 を、解答欄Ⅳ－乙の e～g に記入せよ。

- e. 異常気象でコメが不作のとき、同時に、消費者がご飯よりパンを好むようになれば、前年に比べてコメの価格は必ず下落する。
- f. 市場の制度が確立された現代では、ある経済主体の活動が、市場を介さずに、直接、他者に損失をもたらすことはない。
- g. 公園や道路、警察など、市場によるだけでは十分な財・サービスが供給されない分野では、政府による供給が発達した。

【設問 4】 下線部㉕に関連して、インフレーションとデフレーションの影響を説明した以下の h～l の記述について、正しいものには数字の 1 を、正しくないものには数字の 2 を、解答欄Ⅳ－乙の h～l に記入せよ。

- h. インフレーションで将来の値上がりが見込まれるとき、現在の消費や投資が増える。
- i. デフレーションになるとモノが安く買えるので、景気が良くなる。
- j. デフレーションにおいて、下方硬直的な賃金は労働者の雇用を抑制し、失業が増える。
- k. デフレーションにおいて、企業の債務負担が実質的に軽くなる。
- l. インフレーションになると、年金や預貯金で暮らす高齢者の生活が困難になる。

【設問 5】下線部㉔に関連して、以下の文章の（ M ）と（ N ）に入る最も適切な語句を、下の語群からそれぞれ 1 つ選び、その番号を解答欄Ⅳ－乙の M と N に記入せよ。

株価や地価が急速に上昇したバブル景気では（ M ）が働いて消費が大幅に増えた。バブルの崩壊後、貸出金の回収が不能もしくは困難になり、銀行は多額の（ N ）を抱え込み、融資を抑制して不況を長引かせる結果になった。

[語群]

1. 外国債券
2. 資産効果
3. 不良債権
4. ブーメラン効果
5. デモンストレーション効果
6. 建設国債
7. コンシューマリズム

【設問 6】下線部㉕に関連して、中央銀行の機能を述べた次の文章の（ ア ）に入る最も適切な語句を、解答欄Ⅳ－甲に記入せよ。

金融機関が経営危機や経営破たん陥ったとき、預金者の預金引き出しに応じるため、中央銀行が緊急の融資を行う。ウォルター＝バジヨットの著書『ロンバート街』に由来するこの機能を（ ア ）という。

【設問 7】下線部㉖に関連して、2005年 4 月から日本で完全に実施された政策を、次の 1～4 のうちから 1 つ選び、その番号を解答欄Ⅳ－乙に記入せよ。

1. 金融ビッグバン
2. BIS 規制
3. 金利自由化
4. ペイオフ

余白

数 学

〔 I 〕 次の に適する数または式を、解答用紙の同じ記号の付いた の中に記入せよ。

- (1) 変数 x の 29 個のデータを $x_i = ai$ ($i = 1, 2, 3, \dots, 29$) とするとき、 x のデータの平均値 \bar{x} は ア , 標準偏差 s_x は イ である。ただし、 a は正の定数とする。変数 z のデータ z_i ($i = 1, 2, 3, \dots, 29$) を $z_i = \frac{x_i - \bar{x}}{s_x}$ とすると、 z のデータの平均値 \bar{z} は ウ , 標準偏差 s_z は エ である。このとき $\sum_{i=1}^{29} z_i^3$ は オ である。
- (2) $f(x) = x^2 - 4x + 3$ とする。放物線 $C: y = f(x)$ と直線 $l: y = x + k$ とが異なる 2 点 $P(p, f(p))$ と $Q(q, f(q))$ で交わるための k の満たすべき条件は カ である。ただし、 $p < q$ とする。この 2 点 P, Q における放物線 C の接線をそれぞれ m_1, m_2 とする。さらに、2 直線 m_1, m_2 が垂直とすると、 $k =$ キ であり、また $p =$ ク , $q =$ ケ となる。このとき、放物線 C と直線 l で囲まれた図形の面積の値を求めると コ である。

〔 II 〕 p を実数とし、 a, b, c は $a < b < c$ を満たす定数とする。 x についての 3 次方程式 $x^3 - 7x^2 + p = 0$ が相異なる 3 つの実数解 a, b, c をもつ。 $g_n = a^n + b^n + c^n$ ($n = 1, 2, 3, 4$) とおくと、次の問いに答えよ。

- (1) g_1, g_2 をそれぞれ求めよ。
- (2) g_3, g_4 を p を用いてそれぞれ表せ。
- (3) この 3 次方程式が相異なる 3 つの実数解をもつための p の満たすべき条件を求めよ。
- (4) $g_4 = 1393$ のとき、 a, b, c, p の値をそれぞれ求めよ。

[III] O を原点とする空間内に、原点以外の相異なる 3 点 A, B, C をとる。 a, b を正の定数とし、点 P は $a\overrightarrow{PA} + b\overrightarrow{PB} + \overrightarrow{PC} = \overrightarrow{0}$ を満たしている。 $\overrightarrow{OA}, \overrightarrow{OB}, \overrightarrow{OC}$ は互いに垂直であり、 $|\overrightarrow{OC}| = 1$ とする。また、3 点 D, E, F はそれぞれ線分 AB, BC, CA の中点である。このとき次の問いに答えよ。

- (1) \overrightarrow{OP} を $\overrightarrow{OA}, \overrightarrow{OB}, \overrightarrow{OC}$ および a, b を用いて表せ。
- (2) \overrightarrow{OP} を $\overrightarrow{OD}, \overrightarrow{OE}, \overrightarrow{OF}$ および a, b を用いて表せ。
- (3) 点 P が線分 DF の中点となるとき、 a, b の値を求めよ。
- (4) 点 P が線分 DF の中点となり、直線 OP が 3 点 A, B, C を通る平面に垂直であるとき、 $\triangle DEF$ の面積を求めよ。